

事務事業名 高齢者への就労支援事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：192

施 策：	10	高齢者福祉の充実 ～地域包括ケアシステムの推進～	財務コード	01030102-40-164
基本事業：	01	社会参加と生きがいがづくり	担当部	健康福祉部
基本事業の 成果指標	地域活動等に参加している高齢者の割合 生きがいを持っている高齢者の割合		担当課	高齢者支援課
			担当係	高齢者福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成08年度 ～		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1．対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2．手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
公益社団法人筑紫野市シルバー人材センター			公益社団法人シルバー人材センターに市内の美化作業を委託することによって、シルバー人材センター会員（高齢者）の就労促進を図るもの。 【委託概要】二日市地区・筑紫地区の主要幹線道路及び生活用道路を中心にごみ拾いを行い、ごみ収集後はクリーンヒル宝満へ搬入。 作業中には「道路の安全確認」「不審者防犯パトロール」「高齢者の徘徊確認」を行い、異変発見時は、市高齢者支援課へ報告を行う。 ＜ごみ拾い＞ ・作業人数：二日市 3班、原田・筑紫 2班（4人／班） ・作業回数：1日／週（年間48日 筑紫は年間36日） ・作業時間：各班）9時～16時 1時間休憩あり ＜ごみ搬入＞ ・作業人数：軽トラック1台に運転手・助手の2名 ・作業回数：1日／月（年間12日） ・作業時間：8時～15時						
3．意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
シルバー人材センターによる会員（高齢者）の就労機会が増加するとともに、会員同士の交流による高齢者の生きがいがいきなり・健康づくり・地域活動への参加が促進されています。									
4．成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標
就業者数		人	22	22	22	22			22
作業延べ人数		人	984	936	936	936			984
5．コスト									
事業費	計	千円	5,487	5,746	6,058	6,381			
	国	千円	0	0	0	0			
	県	千円	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0			
	一般	千円	5,487	5,746	6,058	6,381			
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費		千円	773	782	802				
トータルコスト(事業費＋正職員人件費)		千円	6,260	6,528	6,860	6,381			
6．成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
○あがっている	【状 況】成果指標（就業者数、作業延べ人数）の数値は下がっている。就業者は随時入れ替わっている。就労困難なシルバー人材センター会員に対して一定数の就労機会の提供を行うことができています。 【原 因】現在5コースで対応しているが、各コースの実績から、1コースの就労人員を4名から3名に減員して対応が可能と判断し、減員したため。								
○どちらかといえばあがっている									
●あがっていない（停滞・低下）									
7．評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性が低い	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は小	業務推進課題	なし						
成果向上余地	小さい								
8．改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				■改善方向性		●維持 ○見直し ○廃止 ○事業終了			
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					■備考・特記事項 or 進行管理欄				
働く意欲のある高齢者の社会参加を促進するため、健康保持や生きがいがいきなり等を目的に、平成8年度から事業を開始した。 団塊の世代の退職者の増加や少子高齢化の加速に伴い、高齢者の地域での活躍の場や就労の機会の拡大を支援していく必要がある。									